

2012年度日本政府(文部科学省)奨学金留学生選考試験

学科試験 問題

(学部・研究留学生用)

日 本 語

注意 ☆試験時間は120分。

☆答えは全て解答用紙に記入すること。

☆問題はA(初級)、B(中級)、C(上級)の三つあります。

問題

A

Elementary Level

I _____ に ^{はい}入る ^{いい} 正しい ^{なにか} ものを A~Dの ^{なか} 中から ^{ひとつ} 一つ えらびなさい。

(例) わたしは ^{らいねん} らいねん ^{にほん} 日本 _____ いきます。

A が B へ C を D で

- 1 10時 _____ コンサートが はじまります。
A まで B など C から D くらい
- 2 このりんごは 5つ _____ 500円 ^{えん}です。
A を B に C と D で
- 3 きのは ^{じかん} 6時間 _____ べんきょうしたので、とても つかれました。
A も B しか C だけ D でも
- 4 エアコンを _____ まま、ねてしまいました。
A つけて B つけた C ついて D ついた
- 5 _____ まえに はやく かえりましょう。
A くらくなった B くらくなって C くらくなる
D くらくなり
- 6 小川 ^{おがわ}さんが _____、すぐに わたしに おしえてください。
A くると B きたり C きたれ D きたら
- 7 かれは ^{えいご} 英語も ^{ちゅうごくご} 中国語 _____ はなせます。
A も B か C は D や
- 8 あしたの パーティーは たぶん _____ でしょう。
A にぎやかだ B にぎやかに C にぎやか D にぎやかな
- 9 あしたは ゆきが _____ かもしれません。
A ふって B ふった C ふり D ふる

- 10 わたしは あにに かいものに _____。
- A いかせられました B いかれさせました C いかられました
D いかさられました
- 11 わたしは これからも ^{にほんご}日本語の ^{べんきょう}べんきょうを _____ つもりです。
- A つづけていく B つづけてある C つづけてくる
D つづけている。

II _____ に ^{はい}入る てきとうな ものを A~Dの ^{なか}中から ^{ひとつ}一つ えらびなさい。

- 1 すみません、この ^{くつ}靴の _____ を ^{おし}教えてください。
- A ^{ねだん}値段 B ^{さいふ}財布 C ^{だんぼう}暖房 D ^{けいざい}経済
- 2 ^{ぶだん}布団は _____ の ^{なか}中に あります。
- A ^{おしい}押し入れ B ^{てぶくろ}手袋 C ^{かない}家内 D ^{るす}留守
- 3 あそこの _____ は、^{にちようび}日曜日の ^{よる}夜も ^あ開いている。
- A アルバイト B オーバー C ベル
D ガソリンスタンド
- 4 いい においが _____。
- A します B ^き聞こえます C おります D ふります
- 5 かばんの ^{なか}中から ^{じしょ}辞書を _____。
- A おきます B ^{はい}入ります C ^だ出します D ^ひ引きます
- 6 パソコンの _____ ^{かた}方を ^{おし}教えてください。
- A ^{つか}使い B かぶり C ^{そだ}育て D ^す吸い
- 7 ^{ことし}今年の ^{なつ}夏は ^{きょねん}去年の ^{なつ}夏より _____ です。
- A ^{たかい}高い B ^{おほい}大きい C ^{くわ}詳しい D ^{あつ}暑い

- 8 あなたの ^{くに}国では、どんな スポーツが _____ ですか。
 A ながい B けっこう C さかん D やわらかい
- 9 _____ この ^{がっこう}学校で ^{べんきょう}勉強したい。
 A ぜひ B ぜんぜん C ちっとも D やっと
- 10 かばんの ^{なか}中に ノートが _____ あります。
 A ^{ほん}3本 B ^{にん}3人 C ^{さつ}3冊 D ^{かい}3回
- 11 朝から ^{なに}何も ^た食べていないので、おなかが _____。
 A あきました B いっぱいです C すきました D ^{ちい}小さいです
- 12 _____ が ありますから、^{がっこう}学校へ ^い行きません。
 A ^{ねつ}熱 B ^{きぶん}気分 C ^{あめ}雨 D のど

Ⅲ _____ に ^{はい}入る てきとうな ものを A~Dの ^{なか}中から ^{ひとつ}一つ えらびなさい。

1 田中さん：「昨日、^{きょうと}京都で キムさんに ^あ会いましたよ。」

鈴木さん：「_____。キムさんは ^{げんき}元気でしたか。」

田中さん：「ええ、^{げんき}元気そうでした。」

- A そうでした B そうですか C そうですね D ええ

2 田中さん：「今日は ^{きょう}ごちそうさまでした。」

鈴木さん：「いいえ、_____。また ^{いらっしや}いらっしやってください。」

- A どういたしまして B おじゃましました
 C ごめんください D ^{しつぱい}失礼します

3 田中さん：「あの方は どなたですか。」

鈴木さん：「_____。」

A その方は 山田さんの 妹 です

B どの方ですか

C 山田先生は あの方です

D この方は 山田先生です。

4 田中さん：「明日 わたしの 家に 遊びに 来ませんか。」

鈴木さん：「_____。」

A はい、いきます

B いいえ、来ません

C はい、来ます

D いいえ、いきます

5 田中さん：「サッカーの しあい、もう 終わりましたか。」

鈴木さん：「いいえ、_____。」

A まだ 終わっていません

B まだ 終わりませんでした

C もう 終わっていません

D もう 終わりません

IV ①～⑧の 漢字の 読み方を ひらがなで 書きなさい。また、(1)～(7)の _____ の ひらがなを 漢字で 正しく 書いたものは どれですか。A～Dの中から 一つ えらびなさい。

① 息子 は ② 東京 に ③ 住んで いますが、④ お正月 には 国へ 帰ってきます。

小さな 子どもは 初めは ⑤ 耳 から ことばを ⑥ 習います が、

⑦ 上手に 話せないので、いろいろな 方法で 親に メッセージを

⑧ 送ります。

(1) どようびに (2) ちちと (3) うみへ (4) およぎに 行きます。

(5) ごごに になると (6) きおんが 下がり、少し (7) さむく なくなりました。

(1) どようび: A 上 B 土 C 王 D 火

(2) ちち: A 弟 B 兄 C 父 D 母

(3) うみ: A 海 B 悔 C 梅 D 悔

(4) およぎ: A 流 B 泳 C 洗 D 泣

(5) ごご: A 牛 B 干 C 午 D 千

(6) きおん: A 温 B 音 C 湿 D 暗

(7) さむく: A 塞 B 寒 C 冷 D 凍

V 次の文は歯科医（歯の医者）が書いた文です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から一つ選びなさい。

歯を大切にしていないと、虫歯になってしまいます。口の中にはミュータンス菌というとても小さい生き物があります。ミュータンス菌は、口の中にある砂糖などから酸をつくります。この酸のせいで悪くなってしまった歯のことを、虫歯と呼びます。

虫歯にならないようにするには、ものを食べたあとで、歯に残った食べ物をしっかりと取って、口の中をきれいにするのが大切です。正しく歯をみがきましょう。まず、歯の大きさに合った歯ブラシを選ぶのが大切です。また、歯ブラシの先が広がったら新しいものにかえましょう。先が広がった歯ブラシでは、残った食べ物をしっかりと落とせません。みがくときは、歯にブラシをしっかりとあてて、あまり力を入れないで小さく動かしましょう。奥の歯や、歯と歯の間などは、食べ物が残りやすいので、特にしっかりとみがきましょう。

また、食べるものと食べ方に気をつけることも大切です。甘い食べ物や、歯に残りやすい食べ物には注意しましょう。また、おやつなどを、長い時間いつまでも食べるのも問題です。食べ物を食べている間と食べたあとは、口の中が虫歯になりやすいから

です。

そして、食べる^たとき、よくか^{たいせつ}むことも大切^{たいせつ}です。よくか^たんで食べると、口の中^{くちなか}につば^{つば}が^で出てきます。つばは、酸^{さん}をはたらきにくくして、口の中^{くちなか}を虫歯^{むしは}が^{でき}にくくしてくれ^{ます}ます。

いつまでも自分^{じぶん}の歯^はで、おいしいもの^たが食べられるように、歯^はを大切^{たいせつ}にしたいですね。

問い1 この歯科^{しかい}医^いは何^{なに}について書^かいていますか。

- A 歯^はブラシ^{はら}の選^{えら}び方^{かた}について
- B 虫歯^{むしは}になら^なない方^{ほう}法^{ほう}について
- C おい^たしいもの^たの食^{かた}べ方^{かた}について
- D 虫歯^{むしは}を治^{なお}す方^{ほう}法^{ほう}について

問い2 この歯科^{しかい}医^いは、どうして虫歯^{むしは}になら^いと言^いっていますか。

- A 口の中^{くちなか}に酸^{さん}が^{でき}るから
- B 口の中^{くちなか}につば^{つば}が^{でき}るから
- C おや^たつを食^かべるから
- D よくか^たんで食^かべるから

VI 次の文^{ぶん}を^よんで、あとの問^といに答^{こた}えなさい。答^{こた}えはA~Dの中^{なか}から一^{ひと}つ選^{えら}びなさい。

蚊^かを見^みつけてパチンとた^たいたら、その手^てに血^ちがついたこと^{こと}はありませ^せんか。それは蚊^かがわたしたちの血^ちを吸^すっているから^{から}です。蚊^かの口^{くち}は、針^{はり}のようにな^なっていて、人^{ひと}や動^{どう}物^{ぶつ}の体^{からだ}を刺^さして血^ちを吸^すいます。針^{はり}はと^とても細^{ほそ}いので、刺^さされてもほとん^{ほとん}どわ^わかりませ^せん。

では、なぜ刺^さされたところ^{ところ}がかゆ^{かゆ}くなるので^{ので}しょうか。人^{ひと}や動^{どう}物^{ぶつ}の血^ちは、体^{からだ}の外^{そと}に出^でるとかた^{かた}まってしま^{しま}います。そのま^ままでは蚊^かは血^ちが吸^すえな^なくなりま^ます。それで蚊^かは、体^{からだ}に刺^さした針^{はり}から、血^ちをか^かたまり^{まり}にくくする液^{えき}体^{たい}を入^いれます。この液^{えき}体^{たい}が体^{からだ}に入^いると、だ^だん^{だん}か^かゆ^ゆくな^なって、赤^{あか}くふ^ふくら^{くら}んでくるので^{ので}す。

ところで、蚊は、血を吸って生きています。蚊は、花のみつや、草や木の甘い汁などを食べ物にしています。実は、血を吸うのは、メスの蚊だけです。メスの蚊は、吸った血を、卵を産むのに使います。蚊は、一回に自分の体の重さと同じぐらいの血を吸うことができます。その血を栄養にして、おなかの中で卵を大きくします。そして、一回に300ぐらいの卵を産みます。卵から生まれた子どもの蚊は、水の中で生活します。だいたい二週間ぐらいでおとなの蚊になって、一か月ぐらい生きます。

蚊に刺されると、刺されたところがかゆくなるだけでなく、マラリアなどの病気にかかることもありますから、注意しなければなりません。

と
問い1 蚊に刺されたところがかゆくなるのは、どうしてですか。

- A 蚊の口が針のようになっているから
- B 血は、体の外に出るとかたまってしまうから
- C 蚊が血をかたまりにくくする液体を入れるから
- D 蚊が卵を産むから

と
問い2 蚊は、何のために人間や動物の血を吸いますか。

- A 食べ物にするため
- B 卵を育てるため
- C 子どもの蚊に食べさせるため
- D おとなになるため

問題

B

Intermediate Level

I _____ に入る正しいものをA~Dの中から一つ選びなさい。

- 1 だれも見ていなかったことを理由____、うそをついても無駄ですよ。
A で B と C へ D に
- 2 お金は使って____、価値があるのであり、使わなければただの紙切れです。
A より B まで C こそ D のみ
- 3 最終バスに遅れてしまった。タクシーに乗るお金もないし、歩いて帰る____。
A ほかない B ほかならない C ほかでもない
D ほかがない
- 4 ますます雨が激しく降ってきた。このようすと、しばらくはやみ____。
A らしくない B にちがない C つつある
D そうもない
- 5 どういうわけか、傘を持っていない日に____雨が降ることが多い。
A ともなって B かぎって C わたって D そって
- 6 外国での生活も長くなるに____、最初は変だと思っていたこともだんだん気にならなくなっていった。
A つれて B みえて C かけて D いたって
- 7 彼は自分の部屋へ入った____、一歩も外へ出ようとはしなかった。
A わけ B ほか C きり D ほど
- 8 この夏休みに帰国する____だったが、結局、忙しくて帰れなかった。
A ところ B ばあい C かわり D つもり
- 9 私はパスポートを持ったことがない。____外国へも行ったことがない。
A 言うものの B 言うまでもなく C あえて言えば
D だからと言って

- 10 申し込みの締め切りは明日までですので、気をつけてください。_____ それ以降は一切受け付けません。
- A なお B まさか C おしろ D さすが

II _____ に入る最も適当なものをA~Dの中から一つ選びなさい。

- 1 いつまでたっても _____ できる説明をしてくれないので、あきらめることにした。
- A 指摘 B 発揮 C 希望 D 納得
- 2 田中さんはバイオリンの _____ で優勝した。
- A グラフ B コントロール C デモ D モデル
- 3 バスに乗っていたら、お年寄りが乗ってきたので、席を _____ 。
- A 譲った B あげた C 渡した D 掛けた
- 4 薬を飲んだので、熱が _____ ました。
- A 落ち B 降り C 下がり D 冷え
- 5 この国で地震が起こるのは、 _____ 。
- A にぶい B のんきだ C まれだ D ずうずうしい
- 6 この花は開いてから _____ 二日で散ってしまう。
- A たった B はたして C めったに D ますます
- 7 初めて飛行機に乗るので、胸が _____ している。
- A ひそひそ B くるくる C ときどき D だらだら
- 8 近くのコンビニで新聞を _____ 買った。
- A 一冊 B 一枚 C 一部 D 一巻
- 9 先日は私のことで _____ をおかけして、申し訳ありませんでした。
- A ご指導 B お手数 C お邪魔 D ご質問

- 10 あの二人はけんかをしたらしく、互いにまったく_____。
A 口が悪い B 口に合わない C 口をきかない
D 口を出さない

Ⅲ _____に入る最も適切なものをA~Dの中から一つ選びなさい。

1 田中さん：「山田さんはお休みですか。」

鈴木さん：「_____。いつも遅れてくるから。」

- A さあ、どうでしょう B あのう、どうしましたか
C はい、そうです D ええ、为什么呢

2 田中さん：「もう6時ですね。そろそろ_____。」

鈴木さん：「そうですね。じゃ、片付けます。」

- A 帰りましたか B 帰りませんか C 帰りそうです
D 帰るでしょう

3 キムさん：「先生、よかったらその仕事、私に_____。」

先生：「そうですね。じゃ、お願いします。」

- A やってくださいますか B やらせてもらえませんか
C やらせてあげませんか D やってもらえませんか

4 田中さん：「もしもし田中と申しますが、山田先生は_____。」

山田先生：「私が山田ですが。」

- A いらっしゃいますか B おっしゃいますか
C 話しますか D お話しになりますか

- 5 出版社の人：「先生、お忙しいことは存じておりますが、原稿、明日までに仕上げただけなんでしょうか。」
- 山田先生：「今日もこれから会議がありますし、明日までに仕上げるのはちょっと無理ですね。」
- 出版社の人：「そこを_____お願いいたします。」

A なんとか B なんとも C なんでも D なにかしら

IV ①～⑧の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。また、(1)～(7)の_____のひらがなを漢字で正しく書いたものはどれですか。A～Dの中から一つえらびなさい。

先月の①上旬はなぜか②嫌なことばかりが③重なって、④厳しい⑤現実と向き合うこととなった。

天候が農作物のでき⑥具合を大きく⑦左右するため、日照りが一週間にも⑧及べば、被害はさらに大きくなる。

手術の(1)よくあき、(2)しんこくな状態だった(3)かんじゃはようやく意識を取り戻した。

別れるとき、(4)したしい友人と(5)だき合って、手を(6)にぎりながら、再会を(7)ちかい合った。

- (1)よくあき： A 翌 B 良 C 堅 D 次
- (2)しんこく： A 心 B 真 C 寝 D 深
- (3)かんじゃ： A 看 B 感 C 患 D 官
- (4)したしい： A 親 B 寂 C 優 D 嬉
- (5)だき : A 打 B 撫 C 叩 D 抱
- (6)にぎり : A 捕 B 握 C 搾 D 撮
- (7)ちかい： A 警 B 誉 C 誓 D 譬

V 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から最も適切なものを一つ選びなさい。

ほかのいろいろなものについて、私たちが持っているたしからしい知識の中でも、あるものはひじょうにたしからしい、他のものはそれほどたしからしくはないものもあるでしょう。この、ひじょうにたしからしいもののうちのあるものは、じっさいのできごとを研究する学問の上では、(1) _____とよばれたり、法則とよばれたりしているものです。ですから、法則とよばれているものの中でも、いっそうたしかなものと、それほどたしかでないものがあります。ニュートンの引力についての法則は、ほとんどぜったいといっていいくらいたしかですが、生物の遺伝の法則や、社会の動きの法則(たとえば、経済の法則や歴史の法則)などということになると、それほどたしかでないものが出てきます。

ですから、たんに私のいままでの経験だけでなく、たしかな法則をもとにして考えられたことは、それだけたしかが増してきます。物のねだんが来年はどうなるかということについての判断のばあいにも、ただ、いままでの経験だけから言っている人の判断よりは、経済の法則を知っている人の判断のほうがいっそうたしかでしょう。

法則というものは、何かある一つのことについて、あるばあいにだけ言われるような知識ではありません。それは、多くの人たちの、いろいろな経験をしらべ、さらに、ほかのいっそうたしかな知識や法則との関係も考えたうえで、「すべてのばあい」にあてはまるようなことを言っているのです。

いま私がここで手に持っている万年筆を手から離せば下に落ちる、ということ言うのではなくて「地上のすべての物体は、ささえを失えば、地表に向かって落ちる。」というような形で言われます。

私が、いま手に持っている万年筆は、地上のすべての物体の中の一つですから、もし、この法則がたしかならば、私の手から離れた万年筆が、地上に落ちるだろうということも、またたしかなのはあたりまえでしょう。

しかし、もし私の手を離れた万年筆が、そのまま空中にとまっていたとしたら、

たった一どだけこんなことが起こったとしても「すべて」のばあいには落ちることになりませんから、この法則は(2) あやしくなります。そのときには、万年筆が空中にとまっていたということが、何かほかの、いままで知られていない原因によるのではないだろうか、と考えて、そのような原因をさがしていくでしょう。あるいは、いままでの法則がまちがっているとして、こんどは、まちがいのない、いっそう完全な法則を見つけるように努力するでしょう。 *中略*

ある部分について言われることを、そのまますぐにぜんぶのこととして言うようなまちがい——たとえば、あるふとった人は、心臓病にかかりやすい、ということから、すべてのふとった人は、心臓病にかかりやすい、と考えるようなまちがい——を私たちは、(3) まちがった一般化とよんでいます。 *中略*

科学の法則も、すべてのばあいを観察したのではないのですから、くわしく言えば、まちがった一般化だと言われるかもしれません。しかし、前にお話したように、科学の法則をたてるときには、ただ二、三の観察から法則をたてるのではなくて、ほかのもっとたしかな法則や客観を考えに入れて、注意ぶかくおこないます。また、その法則のたしかさをためす実験をおこないますから、ばあいによっては、たった一どの観察からでも「すべて」のばあいにはあてはまる法則を、ほとんど正確に引き出すことができます。しかし、私たちのふだん生活の中では、このようなじゅうぶんな用意なしに、すぐに「すべて」とか「ぜったいに」とか言いたくなるものです。 *中略*

太郎君は、四、五回中村君にいじめられました。しかし、太郎君は他人に中村君はほんとうに悪い子だという気持を持ってもらいたいので、(4) _____ とうたえます。

このような一般化は、うっかりすると、正しい、正確な知識と、人間の感情にうったえる宣伝とをとりちがえてしまうような結果をひきおこすものです。私たちは、できるだけ正しい知識のうえに立って正しい知識にもとづいて、他人とともによるこんだり、かなしんだり、ふんがいしたりしたいものです。

(沢田允茂『考え方の論理』より、一部表記を改めた。)

問い1 下線部(1)に入る最も適切なものはどれですか。

- A 議論ぎろん B 理論りろん C 評論ひょうろん D 結論けつろん

問い2 下線部(2) あやしくなります の意味はなんですか。

- A 必要ひつようではなくなります
B 理解りかいできなくなります
C 覚えおぼられなくなります
D 信用しんようできなくなります

問い3 下線部(3) まちがった一般化 の例として、最も適切なものはどれですか。

- A わたしの知っている日本人にほんじんはみなよく働く。だから、日本人さんべんは勤勉だ。
B わたしの知っている日本人はみなよく働く。だから、その人たちは勤勉だ。
C 日本人は勤勉だ。だから、わたしの知っている日本人もよく働く。
D 日本人は勤勉だ。だから、日本人は毎日、夜おそくまでよく働く。

問い4 下線部(4)に入る最も適切な文はどれですか。

- A 「中村君なかむらくんは、いつでもぼくをいじめるんだよ。」
B 「中村君は、ときどきぼくをいじめるんだよ。」
C 「ぼくは数回、中村君に*い*じめられたことがあるんだよ。」
D 「ぼくは前まえに、中村君に*い*じめられたことがあるんだよ。」

問い5 本文と内容が合うものはどれですか。

- A たくさんの経験けいけんをもとに注意深くつくられた法則ほうそくは、ぜったいに正しいものだ。
B 科学的な法則を立てるばあいかはどんな時でも、後で実験じっけんをするので一回いっかいの観察くわんさつで十分だ。
C 法則の中にもたしかでないものがあるので、経験にもとづいた判断はんだんこそが大切だ。
D 日常生活にちじゅうせいでよく行われる一般化いっぱんかは、どんなばあいにもあてはまるような法則そくとは違う。

問題

C

Advanced Level

I _____に入る正しいものをA~Dの中から一つ選びなさい。

- 1 君の言い方だと、今回のことは全て僕が悪いと_____ばかりだね。
A 言わない B 言う C 言わん D 言おう
- 2 こんな大事なことは、もっと早くに君に知らせておく_____。
A はずだった B べきだった C にちがいがなかった
D らしかった
- 3 1時間磨き続けた結果、床が_____。
A ピカピカとなった B ピカピカとした C ピカピカになった
D ピカピカにした
- 4 駅に到着する_____否や、タクシーに飛び乗った。
A や B と C とか D なり
- 5 彼も立場のある人なのだから、もう少し発言には配慮があっても_____。
A よさそうなものだが B よいそうなものだが
C よいみtainなものだが D よいらしいものだが
- 6 今年は暑くなるかと_____、20年ぶりの冷夏だそうだ。
A 思いきや B 思いきて C 思わせば D 思わせず
- 7 私は動物が大の苦手だ。_____へびやかえるなど、想像するだけで気持ちが悪い。
A ましてや B なるほど C せめて D やがて
- 8 市長の、道半ばでの辞任に、支持者達は驚きを_____得なかった。
A 禁ず B 禁じ C 禁じて D 禁じざるを

II _____に入る最も適当なものをA~Dの中から一つ選びなさい。

- 1 田中君は_____な性格で、思いついたらすぐに仕事を休んで旅行に行ってしまう。
A 気がね B 気づまり C 気くばり D 気まぐれ
- 2 大学を出ても仕事が見つからないので、しばらく姉の家に_____になることにした。
A 依存 B 厄介 C 手間 D 迷惑
- 3 タイヤが_____したので、修理に出している。
A パンク B カンニング C ポーズ D ストライク
- 4 大地震のニュースを見て、自然の恐ろしさを改めて_____した。
A 感動 B 共感 C 認識 D 容認
- 5 今日は水曜日だと_____いたが、実は木曜日だった。
A 考え入れて B 考え込んで C 思い入れて D 思い込んで
- 6 誰が私たちのチームのリーダーに_____だろうか。
A あわただしい B なやましい C ふさわしい D おなしい
- 7 友だちの結婚式に出席したいのは_____だが、仕事が忙しくて行けそうにない。
A まちまち B かねがね C やまやま D しみじみ
- 8 科学が進歩したからといって、_____豊かになったとは言えない。
A 一概に B 一見 C 一体 D 一心に
- 9 彼は何かを隠しているようだ。何を聞いてもいい加減な返事で_____。
A お茶を濁す B 羽目をはずす C 棒に振る D 水を差す

Ⅲ _____に入る最も適当なものをA～Dの中から一つ選びなさい。

- 1 田中さん：「高校の時に、森田君って_____。」
鈴木さん：「ああ、あの色が白くて細い男の子。」
田中さん：「うん。昨日たまたま町で見かけたんだけど、すごく太ってたよ。」

A いたんじゃない B いたよ C いたじゃない
D いたんだよね

- 2 田中さん：「昨日の試験どうだった？」
鈴木さん：「_____、思ったほどできなくて…。」

A それで B それが C だから D それに

- 3 田中さん：「奥様に明日の待ち合わせの時間が12時に変わったということを_____。」

鈴木さん：「はい、伝えておきます。」

A お伝えいたしましょうか B お伝えいただくとありがたいんですが
C ご伝言なさいますか D ご伝言ありがとうございます

- 4 山田さん：「田中さんはいらっしゃいますか。」
鈴木さん：「_____田中はただいま席をはずしております。」

A あいにく B せっかく C わざわざ D やたらに

- 5 先輩：「ひさしぶりに来てみたら、君の机、散らかし_____だね。」
 後輩：「あ、おひさしぶりです。今月から仕事がものすごく忙しくて、掃除する
 ひまもないんですよ。今の仕事が片づいたら、きれいにします。」

A っぱなし B っきり C ったけ D っぷり

IV ①～⑧の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。また、(1)～(7)の_____の
 ひらがなを漢字で正しく書いたものはどれですか。A～Dの中から一つえらびなさい。

数々の① 辛い ことも乗り越えながら、② 額 に汗をして働いた。

誰よりも早く思いを③ 遂げよう と、④ 一足先 にここを出ることにした。

相談員は職務を⑤ 全う するべく、受話器の向こうにいる相手の⑥ 反応
 を注意深くうかがいながら、人を⑦ 惹しむ 気持ちで⑧ 丁寧に 語りかけ
 た。

飛行機の(1) そうじゅう 席には、最新鋭の安全(2) そうち を幾重にも
 (3) もうけ、緊急時に備えて万全の態勢で(4) のぞんで いる。

彼女の書くエッセイは、(5) ちゅうしょうてき な表現や(6) びみょう な
 言い回しが多く、読む者をときに混沌とした世界へと(7) いざなう。

- (1) そうじゅう : A 従 B 蹴 C 剰 D 縦
 (2) そうち : A 操 B 装 C 挿 D 搜
 (3) もうけ : A 設 B 造 C 申 D 築
 (4) のぞんで : A 希 B 求 C 臨 D 望
 (5) ちゅうしょうてき : A 注 B 抽 C 仲 D 忠
 (6) びみょう : A 薇 B 徹 C 微 D 徴
 (7) いざなう : A 誘 B 連 C 召 D 勸

V 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から最も適当なものを一つ選びなさい。

われわれは何を「現実」と呼んでいるのだろうか。それは何よりもまず自分自身の命にかかわることであろう。そしてそれとともにまた、自分の生きている状態とでもいえるもの、例えば苦痛や快楽、気分や感情とかである。否応なく自分の命と生とにかかわるもの、それがわれわれの現実の核である。

(1) _____ 痛みには幻はありえないのである。激痛におそわれている人に向かって、君は今、痛みの幻覚におそわれているのであって本当は痛みなんてないんだよ、と言うことこそ(2) もっとも非現実的であろう。それと同様、悲しみや喜びや怒りにも幻はありえない。幻の賞金で喜ぶことはあっても、その喜び自体は幻ではありえない。ある妄想のため怒ることはあっても、その怒りは怒りの幻覚ではない。このように人間の生きることそのものである苦痛や感情に幻がありえないのと同様に、同じく生きることの核心である「さわる」ことにも幻はありえない。手で^つ掴んで触れ、口で触れ、胃腸で触れるものが幻だということはありえない。そういうものこそわれわれが「現実」と呼んでいるものだからである。

それに対して幽霊が幻とされるのは、この人間の命の「現実」に疎遠だというのがために過ぎない。この世に存在せぬ虚妄のものだからというのではない。幽霊はその傍らの柳の木と同様に存在したのである。「見えるが触れえぬもの」として存在したのである。それを幻と呼ぶのは、われわれが存在を二つに分類して「見えて触れうるもの」と「見えるが触れないもの」とに区分したからである。だから幻は不可^{フントゥッチャブル}触な存在ではあるが、虚妄の非在ではない。存在のこの区分は存在と非在との区分ではなく、われわれの生き死にかかわるものと、かかわらぬものとへの分類なのである(もっとも幽霊に驚いて心臓マヒを起こすこともありうるが)。それによって現実と幻とが区分けされ、真と偽とが区別される。だから(3) これらの区別はきわめて人間的な区別、というよりもむしろ動物的な区別なのである。

区別は区別された両方のものが存在していなくてはその働きを失ってしまう。すべての人間が正気であり善人であれば、狂気と正気、善人と悪人の区別は無用となるように。だが時に人はこのことを忘れる。例えば周知のごとく、デカルトはわれわれの経験する世界はすべて悪霊^{デモン}の欺きではないか、という疑いを彼の議論の初めに置いた。しかし、

歯痛や肩こり、重い病氣、喜怒哀樂、食べ物飲み物、こうしたものまですべて幻である、というときにはもう「幻」という言葉はぬけがらになっている。幻の金で幻の食事をして幻の腹痛をおこし、幻の医者に更に幻の金をとられて幻的に怒る、ということになるからである。

(4) 人生すべてこれ夢なり、ということも額面どおりにとるならばこれと同じである。夢ということが意味をもつのは、^{かきせい}覚醒がある限りにおいてだから。

いやそれにとどまらない。夢について語れるのはただ覚めている間だけではあるまいか。死について語れるのはただ生きている間だけであり、過去や未来を語れるのはただ現在只今だけであるように。つまり、そこに居ない間だけ語れるような「そこ」があるのである。劇中劇のように夢の中でまた夢を見たということはある。しかしその時の夢語りには第二次の夢についてであって、当の夢についてではない。夢は過去形で語るほかはない。夢から覚めて初めて夢を見たのである。

だから夢と覚めた世界とが比較される場合、夢にとって決定的に歩が悪い。相手の陣営の中でしか品定めされないののでどうしても影が薄くなる。第一にわれわれは夢をよく思い出せないのである。よく夢に色がついているか、いないかが話題になる。多くの人が自分の夢はまずだいたい色がないと言う。そういう人は自分の夢を何か白黒テレビの画面や白黒写真のようなものだと思っている。しかしその人が夢で会った肉親や友人の顔色や唇の色がある濃度の灰色だったと言うのだろうか。燃えさかる炎も灰色で、灰色の太陽の下で灰色の弁当を食べたと言うのだろうか。そんなはずはあるまい。ただそれらの色がよく思い出せないだけなのである（更に、白、黒、灰色、とて色の一種なのである）。

またしきりに夢のとりとめのなさが印象づけられる。今、川のほとりにいたかと思っていると山の上に行ったり、一緒に歩いていた亡友が生きている女房になっていたり。人はこれらの神出鬼没や変身に驚く（もちろん夢の中ででなく覚めてからである）。しかし覚めた世界がやりきれないほどに平板であり、あまりにもありきたりであることには驚かないのである。

こうした(5) 不公平な比較から夢は何か幻覚的なものにされて、夢まぼろし、と言われることになる。しかし、もし夢がいま少し明瞭に思い出され、幾分なりと系統的であるとしたらどうだろうか。例えば月曜の夜ごとに続きものの夢を見る、といったような場合。その夢の生活が素晴らしいものであれば恐らく人は月曜を待ちこがれ、他の曜

日はただ月曜を待つための日々になるのではあるまいか。その人にとってはその夢の暮らしの方がより「現実的」になりはすまいか。

しかしそんな結構な夢はこの退屈な覚めた現実にはないようだ。そこで(6) 人は夢を現実から浮き上がらせるのである。幻の場合と全く同様に、覚めた生活の生き死にかかわりないというので非現実とするのである。夢での素晴らしい旅行のアルバムを覚めた世界に持ちこむことはできない、かせいだ金も覚めた世界に送金できない、その代わりに夢の借金をはらう必要はない、要するに、夢の生活は覚めた生活にかかわりがない。そして覚めた生活を「現実」と呼んでいるのだから、この「現実」とのかかわりのない生活は夢なのだ、非現実的な夢なのだ、とされる。かろうじて、まさ夢とか夢のお告げとか、近ごろはフロイト的夢判断とかが現実へのかかわりとして利用されるだけである。

しかし、夢と覚めた世界との対比は、現実と幻との対比と同様に、存在するものと非存在のものとの対比ではない。それは人間の動物的条件に根ざした存在の分類なのである。この、夢まぼろしと現実との対比の基準そのものが動物的現実なのである。夢まぼろしはありもせぬものではない。ただ現在只今食べられないものなのである。そして人は時に、食べられないものをありもせぬものだと言うのである。

(大森荘蔵 「夢まぼろし」より、一部表記を改めた。)

問い1 下線部(1) _____に入るもっとも適当な言葉はどれですか。

- A だから
- B そして
- C そのうえ
- D しかしながら

問い2 下線部(2) もっとも非現実的であろうについて、なぜ「非現実的」なのですか。

- A 痛みの中には幻のように感じる種類のものもあるから
- B 痛みのほかにも人間には様々な感覚や感情があるから
- C 痛みは人によって感じ方に違いがあるから
- D 痛みはその人が本当に感じているものであるから

問い3 幽霊について述べるとき、下線部(3) これらの区別はきわめて人間的な区別、というよりもむしろ動物的な区別なのである とは、どういうことですか。

- A 幽霊を幻と考えるのは、人間固有の想像というのではなく、あらゆる動物において見られる現象である。
- B 幽霊を幻と考えるのは、いるかいないかではなく、触ることができるかできないかで判断したものである。
- C 幽霊を幻と考えるのは、その存在のあり方によるのではなく、人間の想像力をこえた思考によるものである。
- D 幽霊を幻と考えるのは、実際に存在するかどうかではなく、存在を信じるか信じないかによって判断したものである。

問い4 下線部(4) 人生すべてこれ夢なり とは、どういうことですか。

- A 人が生きていく中で存在を疑うところから未来が開かれるということ
- B 人は生きていく中でいろいろな希望をもつがかなわないということ
- C 人が生きていく中で経験する様々なことは実は幻であるということ
- D 人は生きていく中で疑いをもつだけでは幻から抜け出られないということ

問い5 下線部(5) 不公平な比較 について、なぜ「不公平」なのですか。

- A 夢は退屈な覚めた世界よりも重要であることが気づかれにくいから
- B 夢について検討できるのは夢の中ではなく覚めた世界の中であるから
- C 夢に比べて覚めた世界ではものごとが明瞭な色や形をもっているから
- D 夢の世界と同じく神出鬼没や変身は覚めた世界では認められていないから

問い6 下線部(6) 人は夢を現実から浮き上がらせる とは、どういうことですか。

- A 夢を現実とは関係のない、ありえないことがらだと考えるということ
- B 夢を現実よりも理想的な生き方が可能になる世界だと考えるということ
- C 夢を現実に存在するものの価値が反映された世界だと考えるということ
- D 夢を神仏とのやりとりを行う、動物的な回路だと考えるということ